

南アフリカ - 4対3で利上げを決定 -

<政策金利を0.25%引き上げ>

3月17日（現時時間）の金融政策委員会で、南アフリカ準備銀行（以下、SARB）は政策金利を6.75%から7.00%に0.25%引き上げることを決定しました。食品価格上昇とこれまでの急激な通貨安の影響によるインフレ圧力が依然として高いことから、前回に引き続き利上げを決定しました。ただ、利上げ幅は前回の0.50%から0.25%へと小さくなっています。

会合では利上げ3票、据え置き3票と票が割れましたが、最終的にはクガニャゴ総裁が利上げを決定しました。

<今後も引き締めスタンスが続く見込み>

SARBは2016年のGDP成長率の見通しを0.9%から0.8%へ、2017年を1.6%から1.4%へ引き下げました。また、インフレ率の見通しは2016年を6.8%から6.6%へ、2017年を7.0%から6.4%へ修正しました。

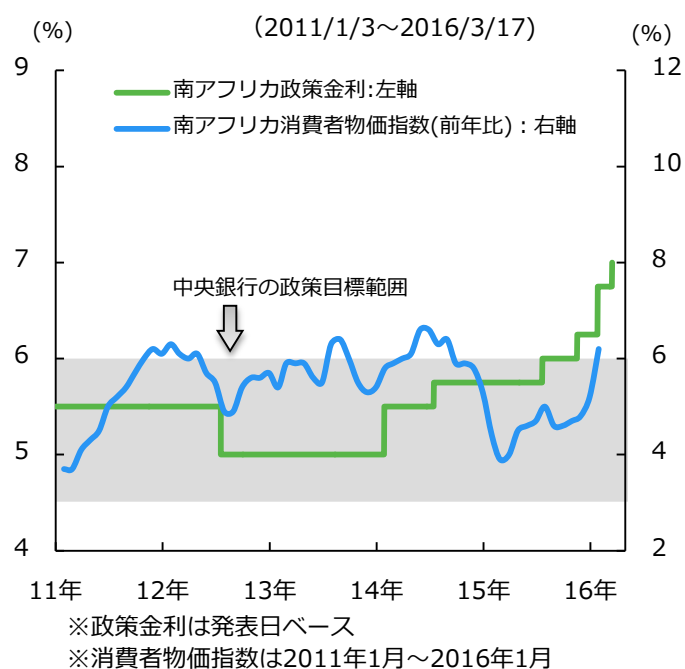
インフレ率の見通しは前回よりも引き下げられましたが、SARBが目標とするレンジを上回っていることから、今後も引き締めスタンスが続く見通しです。

<今後の見通し>

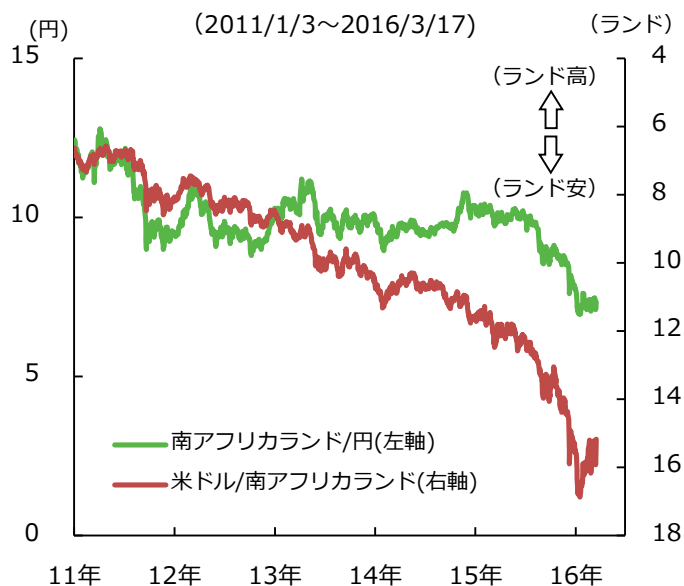
南アフリカランド（以下ランド）は、昨年12月に財政再建に取り組んできたネネ財務相が解任されたことや、その後の中国経済の減速懸念再燃や資源価格の下落が進んだことから、下落傾向が続いています。

南アフリカ経済は資源輸出への依存度が高いことから、中国経済や資源価格の影響を受けやすい性質を持っています。足元では世界経済に対する過度に悲観的な見方が弱まっているほか、資源価格が底打ちし始めています。また、米国の利上げペースが当初見込みより後退していることから、新興国からの資本流出は抑制される可能性が高く、相対的に高金利であることがランドをサポートするものと見込まれます。

<政策金利とインフレ率の推移>



<南アフリカランドの推移>



出所：Bloomberg

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会